

会議名	第2回宇部市産業振興計画推進委員会
日時	令和5年2月14日(火) 14:00~15:40
場所	宇部市役所3階3-4会議室
出席者	委員16名(欠席2名) 事務局6名(宇部市産業経済部2名、商工振興課4名) 中心市街地活性化推進課1名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・宇部市産業振興計画推進委員名簿 ・宇部市産業振興計画推進委員設置要綱 ・資料1-1 宇部市産業振興条例の制定について ・資料1-2 宇部市産業振興条例(本文) ・資料2 令和4年度重点施策の実績見込みについて ・資料3 今後のスケジュールについて 他
No.	会議内容
1	部長挨拶
2	新委員委嘱状交付
3	議題 (1) 宇部市産業振興条例の制定について(資料1-1、1-2) (2) 令和4年度重点施策の実績見込みについて(資料2) (3) 今後のスケジュールについて(資料3)
4	その他
主な議事内容	
<p>議題(1) 宇部市産業振興条例の制定について</p> <p>事務局より説明。意見・質問等は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会の目的は中小企業振興施策の調査審議とあるが、具体的には何を審議するのか。(委員) ⇒専門部会開催の度に中小企業振興に係るテーマ(例:事業承継)を定め、協議する。専門部会で各団体等における課題や実態を意見集約していただいて、産業振興計画推進委員会で報告していただく。(事務局) ・専門部会を開催する頻度や検討する期間予定を教えてください。(委員) ⇒年に2回。事前にテーマを部会長と協議後、決定。テーマに基づいた事案を開催前に調査する期間も設ける予定。(資料3参照)(事務局) <p>議題(2) 令和4年度重点施策の実績見込みについて</p> <p>事務局より説明。意見・質問等は以下のとおり。</p> <p>【重点施策1及び2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX研究会の目指す着地点は何か。(委員) ⇒現在は、次年度に向けて自社の課題を解決するための実施計画を各社が策定しているところ。次年度以降、(議会での議決後)課題解決のための実証事業に対する支援を行う予定。(事務局) ・DXは小規模事業者にとっても喫緊の課題である。市の研究会をはじめとする支援情報が、小規模事業 	

者等に伝わるよう望む。(委員)

⇒次年度以降もDX研究会への参加企業を募集する。興味がある企業は是非参加してほしい。(事務局)

・DX研究会での具体的な取組内容を本委員会の場で紹介していただきたい。(委員)

⇒3月に開催する研究会の内容を踏まえて、令和5年度1回目の産業振興計画推進委員会でその取組内容を紹介したい。(事務局)

・事業承継において相談件数が好調な要因は何か。(委員)

⇒現状として、事業の引渡側の案件は極端に少なく、譲り受ける側の案件が多いと聞いている。事業承継引継ぎ支援センターと連携できていること、市役所という中立、公的な場においての秘密厳守の相談会を開催できていることが要因ではないかと推測。現在も7件に対して引き続き支援をしている。

⇒相談に来る人はどんな人か。(委員)

⇒第三者承継、従業員承継、親子承継それぞれ件数があがっている。中には、そもそも引継ぎに関して何をすれば良いか具体的なイメージが湧いていない人もいる。(事務局)

・ときわ公園チャレンジ(以下「ときチャレ」)実証事業の評価を今後、市として公表される予定はあるか。(委員)

⇒今回は実証内容の評価を市として行わないので、公表予定はない。(事務局)

・ときチャレの実証事業の周知はどのようにしているのか。(委員)

⇒市ウェブサイト、市広報、市長記者会見により周知を行っている。ときわ公園で電動モバイルを市長が試乗した際は、その様子がテレビをはじめ、各社で報道された。今後も取組内容について市民の理解を得るためにマスコミ活用しながら周知していく。(事務局)

・ベンチャー創業のためのセミナーの開催場所はどこか。また、相談件数が120件あり、その内5件が創業に至ったという認識でよいか。(委員)

⇒開催場所はうべスタートアップ。数字の認識はお見込みのとおりである。(事務局)

⇒相談件数については、件数だけでなく、相談の中身も重要。次回以降の委員会で紹介してほしい。(委員)

・飲食業に関して、コロナ前の創業件数とコロナ禍での創業件数を市は把握しているか。(委員)

⇒資料を持ち合わせていない。関係課に確認し、後日回答する。(事務局)

・ときチャレはいつまで続けるのか。また、集客を狙う事業の予定はあるか。(委員)

⇒令和5年度においても、(議会での議決後)ときチャレは継続して実施予定。いつまで実施するかは未定である。ときチャレの目的はときわ公園を活用した成長産業の創出であり、集客に特化した事業の実施は産業経済部において予定していない。(事務局)

【重点施策3及び4】

・まちなかウォークアブル推進事業実証事業で、集客数はいくらか。(委員)

⇒1か月(令和4年11月12日～12月11日)実証事業を行った。通行量の調査等を、カメラを設置するなどして計測したが、集計に時間を要している状況。集計後は市ウェブサイトで報告する。(事務局)

⇒宇部市民のみならず県外にもPRをし、鳥取の水木しげるロードのような市のランドマークになるような通りとなることを期待している。(委員)

・みらいwalkers★UBEは来年以降も実施するのか。(委員)

⇒(議会での議決後)来年も実施予定。(事務局)

⇒今年は求人数が過去最高であり、学生はどうしても条件の良い市外の大手企業を希望しがちで、なかなか市内の中小企業に目を向けない。もっと宇部市内で就職してもらうためには、市内企業を知ることからだと思う。そこで、例えば学生に一人一台支給されているタブレットを開いたときに、トップページに「うべ企業情報ナビ」が表示されると良い。(委員)

その他

【コロナ禍における原油・エネルギー価格、物価高騰に対する支援事業】

事務局より説明。意見は以下のとおり。

・他市でも原油価格高騰に対する支援の要望を行ったが、予算化されなかった。宇部市の支援は活力となったので、感謝したい。(委員)

・商工会議所でも補助金に関する申請方法などの相談を受けているので活用してほしい。(委員)

【第1回推進委員会の意見に関する施策の令和5年度反映状況】

以下のとおり事務局より説明。意見・質問等なし。

◎DXの推進についてはニーズを熟知した専門家を引き込んでもらいたい。

・令和4年度山口県のDX推進拠点であるY-BASE宇部ブランチが開設されているところ。そこに専門家を配置し、相談機能も持っている。相談機能に連動したハンズオン支援を実施していく。

・また、DX研究会においては、その取組実績を今後発信することで、DXに取り組む企業とDXベンダーのニーズがマッチングすることも考えられる。ベンダー参加の可能性を検討していきたい。

◎DXで何をして良いかわからない経営者がいる。

・令和4年度はDX研究会に19社が参加し、実施している状況。令和5年度についても参加企業を募集するので、趣旨に賛同する企業は参加してほしい。

◎市の中小企業に対する人材確保・育成支援について紹介してほしい。

・DX研究会参加企業から「デジタルツールを導入しても結局使える人がいない。特にデジタルに不慣れな人にどう使ってもらうかが課題」ということを聞く。このことに対応するため、従業員のリスクリングについて支援を予定。

◎地元の小中学生に地元企業の魅力が伝わる場が多くあった方が良い。

・令和5年度「みらいwalkers★UBE」を実施予定。また、市内企業情報ポータルサイト「うべ企業情報ナビ」のリニューアルにより、地元企業の魅力を知ってもらう取組を進めているところ。

◎手厚い中小企業振興施策の検討をしてほしい。

・「産業振興計画推進委員会専門部会」を立ち上げ、今後施策の協議をする予定。

議題（3）今後のスケジュールについて

事務局より説明。意見・質問等なし。

以上